

報道関係者各位

「平成 19 年度(2007 年度)大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査」結果の概要について

独立行政法人日本学生支援機構では、全国の大学、短期大学及び高等専門学校を対象に障害学生の修学支援に関する実態調査を実施しました。本調査は 3 回目であり、調査結果の概要は次の通りです。

記

1. 調査概要及び回収状況

- (1) 目的: 今後の障害学生の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学・短期大学・高等専門学校(以下「学校」という。)における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象: 大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ。)、短期大学(部)(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ。)及び高等専門学校(専攻科を含む。以下同じ。)
- (3) 調査方法: 郵送による悉皆調査
- (4) 調査期日: 平成 19 年 5 月 1 日現在
- (5) 回収状況: 回答校数 1,230 校(前年度 1,167 校)(回収率 100.0%(同 93.8%))

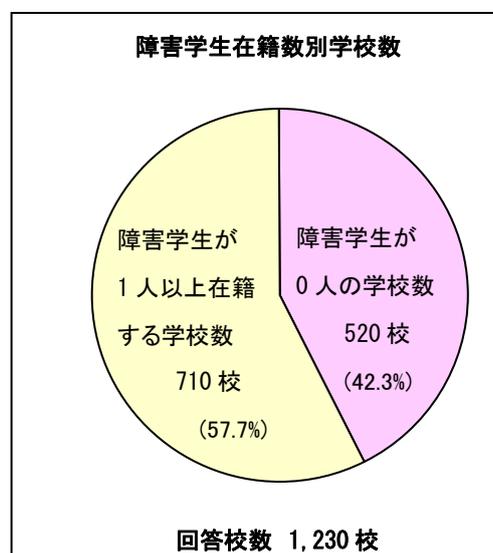
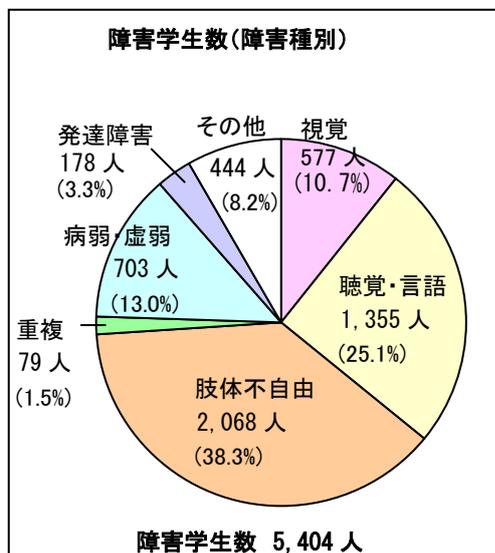
2. 調査結果概要

(1) 障害学生数等

障害学生数: 5,404 人(前年度 4,937 人)(全学生数に対する割合は 0.17%(同 0.16%))

障害学生が 0 人の学校数: 520 校(同 497 校)(回答校全体の 42.3%(同 42.6%))

障害学生が 1 人以上在籍する学校数: 710 校(同 670 校)(回答校全体の 57.7%(同 57.4%))

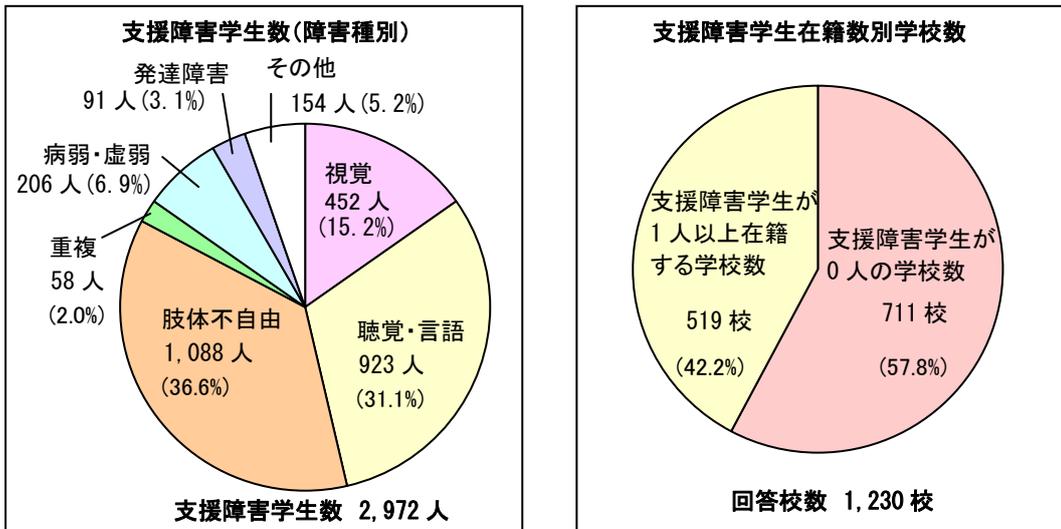


(2) 支援障害学生*1数等

支援障害学生数:2,972人(前年度2,256人)(全学生数に対する割合は0.09%(同0.07%))

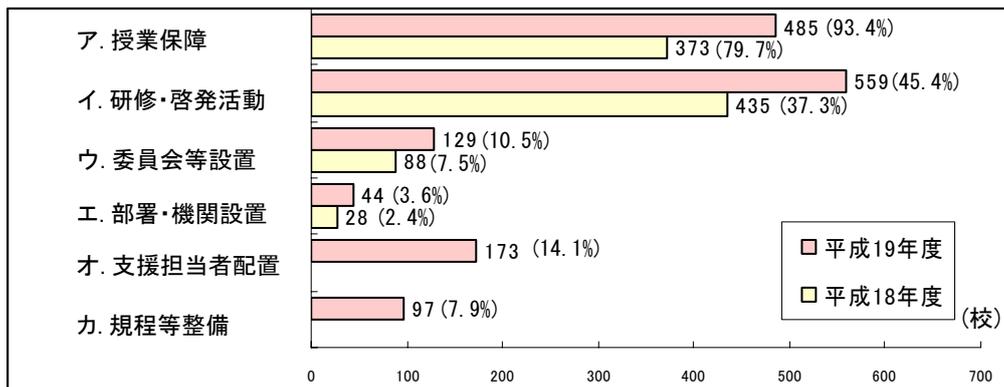
支援障害学生が0人の学校数:711校(同699校)(回答校全体の57.8%(同59.9%))

支援障害学生が1人以上在籍する学校数:519校(468校)(回答校全体の42.2%(同40.1%))



(3) 障害学生の修学支援に関する実施校数状況

※授業保障²については支援障害学生在籍校数に対する割合、その他の項目は回答校数に対する割合。

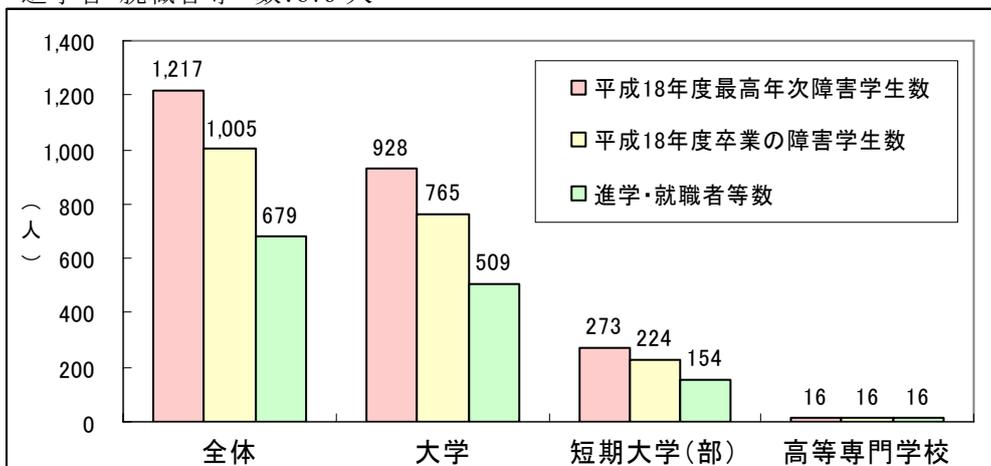


(4) 障害学生の卒業後の進路

平成18年度最高年次障害学生数:1,217人

平成18年度卒業の障害学生数:1,005人

進学者・就職者等*3数:679人



*1 支援障害学生:学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行っている(予定を含む。)障害学生。

*2 授業保障:ノートテイク、手話通訳、点訳など。

*3 進学者・就職者等:大学院、大学学部、短期大学本科、専攻科、臨床研修医、専修学校・教育訓練校へ進学等した者及び就職者